

授業科目 運動学

【担当教員名】 阿 部 薫		対象学年	2	対象学科	義肢
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 1. 生理学・解剖学・機能解剖学の知識をもとに、身体運動に関する主動作筋の作用と神経支配について学習する。 2. 身体運動機能の基本的な検査法として、関節可動域検査法および徒手筋力検査法について学習する。					
【学習目標】 1. 身体運動に関与する骨、関節形状について説明できる。 2. 四肢、体幹の主動作筋および神経支配について説明できる。 3. 関節可動域について説明できる。 4. 徒手筋力検査について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	全身骨格			1	講義
2	関節形状 1			1	講義
3	関節形状 2			1	講義
4	上肢の主動作筋および神経支配 1			2	講義
5	上肢の主動作筋および神経支配 2			2	講義
6	手指の主動作筋および神経支配 1			2	講義
7	手指の主動作筋および神経支配 2			2	講義
8	体幹の主動作筋および神経支配 1			2	講義
9	体幹の主動作筋および神経支配 2			2	講義
10	下肢の主動作筋および神経支配 1			2	講義
11	下肢の主動作筋および神経支配 2			2	講義
12	上肢、手指の関節可動域			3	講義
13	体幹、下肢の関節可動域			3	講義
14	関節可動域検査法			3	講義と実習
15	徒手筋力検査法			4	講義と実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		基礎運動学 第6版	中村隆一ほか	医歯薬出版	2003・6,800円＋税・ISBN：9784263211533
		プロメテウス解剖学アトラス (解剖学総論／運動器系)	ミハエル・シュンケほか	医学書院	2007・12,000円＋税・ISBN：9784260002394
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、小テスト、期末試験			【履修上の留意点】 義肢装具および福祉機器・用具を理解する上で、基本となる重要な分野のため、よく復習し、完全にマスターすることが望まれる。		